

金融危機とマクロ経済

—金融危機後の価格変動と経済変動の新しい分析

マクロ経済研究に携わっているCIGS研究員から、金融危機後の価格変動と経済変動の新しい分析に関する各自の研究の状況について発表を行い、コメンテーターおよび聴講者よりコメントを得て、今後の研究の更なる深耕に結び付ける。

概要

日時：2010年3月1日（月） 13:00-18:45
 場所：日本工業倶楽部3F 中ホール（東京都千代田区丸の内1の4の6）
 主催：一般財団法人 キャノングローバル戦略研究所
 定員：50名（先着順） 参加費：無料

プログラム

研究発表者／コメンテーター

CIGS研究発表者：
 小林 慶一郎 研究主幹
 稲葉 大 研究員
 奴田原 健悟 客員研究員
 渡辺 努 客員研究員
 大西 立顕 研究員
 水野 貴之 客員研究員

総括コメンテーター：
 吉川洋氏（東京大学）

コメンテーター：
 白塚 重典氏（日本銀行金融研究所）
 海蔵寺 大成氏（国際基督教大学教養学部）
 渡部 敏明氏（一橋大学経済研究所）
 大津 敬介氏（上智大学国際教養学部）
 相馬 亘氏（日本大学理工学部）
 中神 康博氏（成蹊大学経済学部）
 中嶋 智之氏（京都大学経済研究所）
 平口 良司氏（立命館大学経済学部）

お申込み／お問い合わせ

添付の申込書をご利用頂き、
 FAX：03（3217）1251

または

E-mail：economics@canon-igs.org
 までお申し込みください。

お問い合わせ

キャノングローバル戦略研究所

CIGS研究会事務局

TEL：03-6213-0550

開会挨拶 13:00~13:10	
キャノングローバル戦略研究所理事長 福井俊彦	
研究報告 第一部 13:10~15:40	
①	小林慶一郎研究主幹 「金融危機についての新理論モデル」 金融危機を情報の非対称性による内部貨幣の消滅と流動性の不足により実物経済を混乱させたものと分析し、金融政策分析の新たな枠組みを提示する。
②	奴田原健悟客員研究員 「信用財セクターの外部性と貨幣の非中立性」 金融システムを通じて取引される財（信用財）の生産に正の外部性が存在すると仮定した新しいマクロ経済モデルを提示し、貨幣の非中立性が引き起こされることを示す。
③	稲葉大研究員 「米国経済ビジネスサイクル・アカウンティング分析」 金融危機以前から今日までのアメリカ経済の変化をビジネスサイクル・アカウンティングの手法によって分析し、日本との比較などによって危機の要因や影響の大きさなどを検討する。
コーヒーブレイク 15:40~16:00	
研究報告 第二部 16:00~18:30	
④	渡辺努客員研究員 「価格変動のミクロ分析」
1	大西立顕研究員 “Exchange Rate Dynamics: A Nonparametric Approach” EBSの為替相場ティックデータを用いて、為替相場が一方方向のトレンドをもつ現象を「連」検定の手法により分析する。市場安定性の指標として「連」が有用であることを示す。
2	水野貴之客員研究員 “On the Evolution of the House Price Distribution” リクルート社の住宅物件情報を用いて住宅価格の分布が時間とともにどのように変遷するか、バブルとその崩壊がどのように空間波及するかを明らかにする。
3	渡辺努客員研究員 “Real Rigidities: Evidence from an Online Marketplace” 価格.com市場における商店の価格づけ行動を分析し、商店相互の模倣が価格変動に重要な影響を与えていることを明らかにする。
総括コメント 18:30~18:45	
吉川洋氏（東京大学）	

小林 慶一郎

キヤノングローバル戦略研究所研究主幹／経済産業研究所上席研究員／
中央大学公共政策研究科客員教授

1991年東京大学大学院修士課程修了（数理工学専攻）、同年通商産業省入省。1998年シカゴ大学大学院博士課程修了（経済学）。

2001年経済産業研究所研究員を経て、2007年より同研究所上席研究員。2003年1月～2007年6月朝日新聞客員論説委員、2005年4月中央大学公共政策研究科客員教授、2007年～2009年京都大学経済研究所非常勤講師、2007年6月～2008年3月国際大学GLOCOM主幹研究員を務める。2009年4月よりキヤノングローバル戦略研究所研究主幹。

渡辺 努

キヤノングローバル戦略研究所客員研究員／一橋大学経済研究所教授

1982年3月東京大学経済学部経済学科卒、同年4月日本銀行入行。1992年3月ハーバード大学Ph. D（経済学専攻）取得。

1999年4月一橋大学経済研究所助教授を経て、2002年より一橋大学経済研究所教授。2004年Bocconi UniversityのVisiting Professor、2006年日本学術振興会・学術創成研究『日本経済の物価変動ダイナミクスの解明』研究代表者、International Journal of Central BankingのAssociate Editor、2006年～2008年「経済研究」編集主任、2008年近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業『持続的成長を可能にする産業・金融ネットワークの設計』研究代表者、Hitotsubashi Journal of EconomicsのEditor、Center on Japanese Economy and Business, Columbia Business School, Columbia UniversityのResearch Associateを務める。2009年5月よりキヤノングローバル戦略研究所客員研究員。

稲葉 大

キヤノングローバル戦略研究所研究員／横浜国立大学国際社会科学研究科非常勤講師

2006年東京大学博士課程単位取得退学。2009年4月博士（経済学）を取得。

独立行政法人経済産業研究所リサーチ・アシスタントを経て、2002年より横浜国立大学経済学部非常勤講師、2008年同大学国際社会科学研究科の非常勤講師を務める。2009年よりキヤノングローバル戦略研究所研究員。

大西 立顕

キヤノングローバル戦略研究所研究員／東京大学大学院経済学研究科特任研究員

1999年筑波大学第一学群卒業（物理学専攻）、2001年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了（数理工学専攻）、2004年同大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了（複雑理工学専攻）。博士（科学）。

2004年東京大学大学院法学政治学研究科助手、2007年同大学大学院法学政治学研究科助教を経て、2009年6月よりキヤノングローバル戦略研究所研究員。

水野 貴之

キヤノングローバル戦略研究所客員研究員／一橋大学経済研究所専任講師／

中央大学大学院商学研究科兼任講師

2000年中央大学物理学専攻卒業、2002年中央大学大学院博士前期課程（物理学専攻）、2005年中央大学大学院博士後期課程修了（物理学専攻）。博士（理学）。

2004年4月～2006年3月H.16年度採用・日本学術振興会特別研究員。2006年～2007年8月H.18年度採用・日本学術振興会特別研究員、2007年7月～2008年3月ボストン大学客員研究員を務める。2007年9月一橋大学経済研究所専任講師、2009年中央大学大学院商学研究科兼任講師、同年5月よりキヤノングローバル戦略研究所客員研究員。

奴田原 健悟

キヤノングローバル戦略研究所客員研究員／専修大学経済学部講師

2004年東京大学経済学部経済学科卒業、2006年東京大学大学院経済学研究科修士課程修了、2009年3月東京大学大学院経済研究科博士課程修了。博士（経済学）。

日本学術振興会特別研究員（DC2）を経て、2009年4月より専修大学経済学部講師、同年8月よりキヤノングローバル戦略研究所客員研究員。